maxell

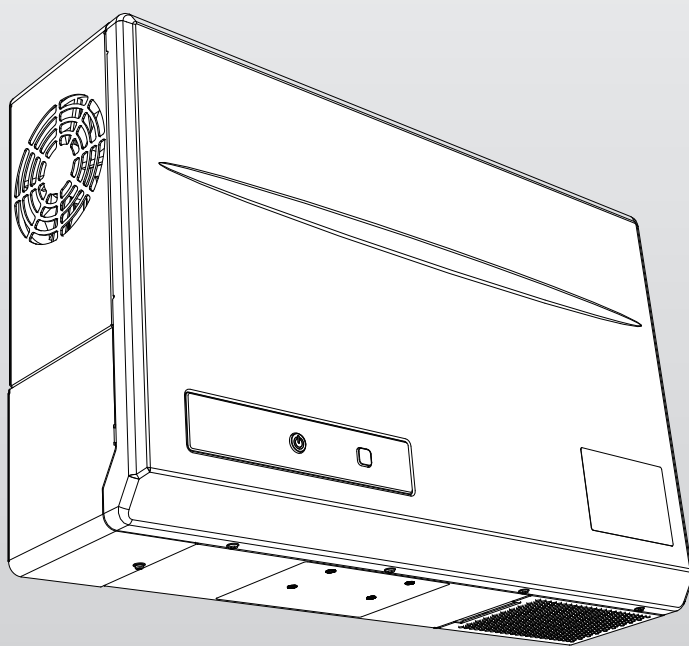
リチウムイオン蓄電システム

取扱説明書

エナジーステーション タイプH
品番：SES080H-014E
型番：ES-H01/ES-H02

保証書別添付

EnergyStation typeH

エナジーステーション タイプH

このたびは、マクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、本装置を正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書および保証書はいつでもご覧になれるよう、お手元に大切に保管してください。
別紙で追加情報が同梱されているときは必ずお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

注意 本装置は「安全上のご注意」をお守りください。火災や感電などの人身事故の原因になります。

HT1411A

目　次

ご使用の前に

操作を行う前の準備

運転のしかた

お手入れのしかた

お困りのときは

保証とアフターサービス

はじめに

取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管ください。

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書は、実物と取扱説明書に掲載している図などが一部異なる場合があります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして制作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標です。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、異常電圧、指定外の電圧や周波数などによる故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 第三者※1 による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用による故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の安全上のご注意の注意事項などに従わなかったために生じた故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、料金等の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置は、人工呼吸器、心臓ペースメーカなど人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本装置を使用し、本装置の故障により人身事故が発生した場合、また、本装置と接続した機器との組み合わせによる誤作動などによる損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置は日本国内仕様です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

※1：ご購入者またはご購入者から指定されたご使用者以外の方

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にご使用いただき、ご購入者様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷※1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害※2を負う可能性または物的損害※3が発生する可能性があること」を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

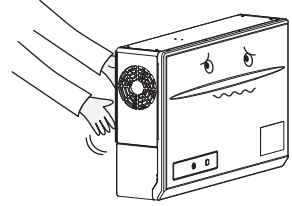
絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「強制」内容のものです。

● 本装置には、安全にご使用いただくため、注意事項を明記した「警告ラベル」「注意ラベル」等が貼り付けてあります。本書の記載内容とあわせて、ラベルの内容をご確認いただき、安全にご使用ください。
● 本装置に貼り付けてあるラベルは汚したり、剥がしたりしないでください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 危険

禁止

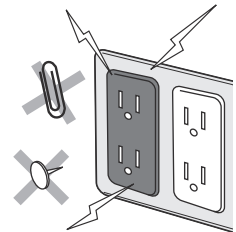
● **本装置は設置後に取り外したり移動させないでください。**
本装置には危険を防止するための保護機構や保護装置が組み込まれています。これが故障すると、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

分解禁止

● **本装置は、分解、改造を行わないでください。**
本装置には危険を防止するための保護機構や保護装置が組み込まれています。これが故障すると、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

分解禁止

● **本装置のリチウムイオン電池を取り外したり交換を行わないでください。**
本装置には危険を防止するための保護機構や保護装置が組み込まれています。これが故障すると、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

禁止

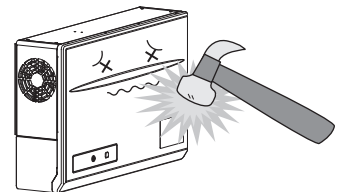
● **本装置の出力先コンセントに、針金やヘヤピンなどの金属を差し込んでショートさせせないでください。また、破損した電源ケーブルを使用しないでください。**
感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

禁止

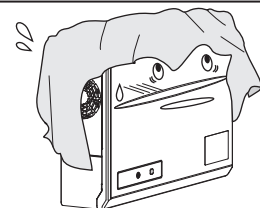
● **本装置を火気に近づけたり、火中へ投入しないでください。**
激しい発火が起きて火災や、やけどなどの原因になります。

水ぬれ禁止

● **本装置を結露しやすい環境で使用および保管しないでください。また水洗いしないでください。**
感電、短絡、発熱、発煙、火災などの原因になります。

禁止

● **本装置に衝撃を与えたりしないでください。**
内部に組み込まれている保護装置が故障すると、異常な電流や電圧でリチウムイオン電池が充電され、リチウムイオン電池が漏液、発熱、破裂、発煙、火災などの原因になります。

禁止

● **物を載せたり、布などで本装置を覆ったりしないでください。**
熱がこもり、発熱、発煙、火災などの原因になります。

ぬれ手禁止

● **濡れた手で、本装置や接続する電気機器のプラグに触れないでください。**
感電の原因になります。

禁止

● **本装置内部からもれた液体には触れないでください。**
液体が目に入ったときは、こすらず、きれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に傷害を与える原因になります。

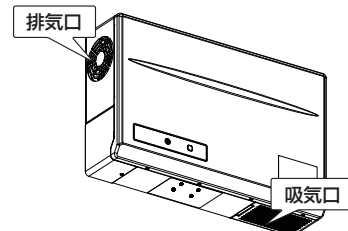
安全上のご注意（つづき）

⚠ 危険

禁止

● **吸気口および排気口から針金などを入れないでください。**
故障の原因になります。

禁止

● **吸気口および排気口の前に物を置かないでください。**
吸気口および排気口が塞がれると、故障、発熱、発煙、火災の原因になります。

指示を守る

● **本装置から異臭、異音、発熱、発煙が発生した場合は、出力スイッチ（Power）をオフにして、分電盤の本装置用分岐ブレーカをオフにしてください。**
そのまま使用すると、場合によっては内部のリチウムイオン電池が発熱、破裂、発火などの原因になります。

禁止

● **本装置を熱源の近くに設置しないでください。**
周囲温度 0 ～ 40℃の環境に設置してください。

⚠ 警告

指示を守る

● **本装置内部の液が、皮膚や衣類に付着したときには、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こす原因になります。

指示を守る

● **本装置を使用する場所は清潔にしてください。**
粉じんや小さな金属物などが装置内部に入ると、短絡して発煙や発火のおそれがあります。

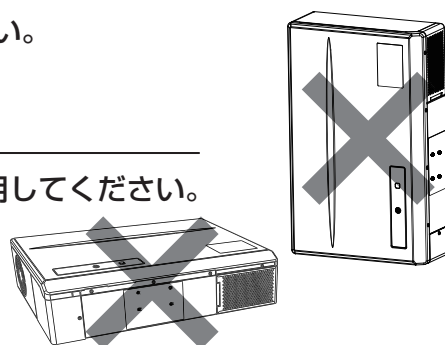
禁止

● **本装置は小さなお子様に使用させないでください。**
故障やけがなどの原因になります。

禁止

● **本装置は高温になる場所で使用しないでください。**
故障や劣化の原因になります。

禁止

● **本装置は壁かけ以外禁止です。必ず壁かけで使用してください。**
漏液、発熱、発火、火災などの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

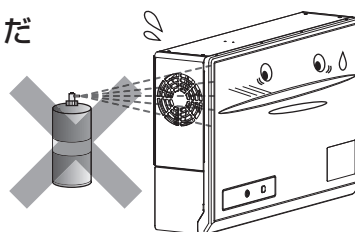
禁止

● **フィルタパネルやフィルタを取り外したままで使用しないでください。**

フィルタパネルやフィルタなどの部品が無い場合、装置内へ粉じん、水蒸気、油煙や小さな金属物などが入るおそれがあります。装置内部に水蒸気、油煙や小さな金属物などが入ると短絡して、発煙や発火、火災などの原因になります。

禁止

● **本装置の近くで可燃性スプレを使用しないでください。**

火災や爆発を引き起こす可能性があります。

禁止

● **オーブン、電子レンジ、トースタ、炊飯器などの熱や蒸気を発生する家電製品を本装置の下に設置・稼働しないでください。**

リチウムイオン電池の寿命を縮めたり、故障・発火・火災のおそれがあります。

指示を守る

● **電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って行ってください。**

電気回路容量不足や据付工事に不備があると、感電や発熱、火災の原因になります。

指示を守る

● **据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。**

ご自分で据付工事をされ不備があると感電や、発熱、火災などの原因になります。
認定を受けた専門スタッフによる、信頼性の高い施工を行います。

指示を守る

● **据付工事は、重量に十分耐える場所に確実に実施してください。**

強度不足や据付工事が不十分な場合は、本装置の落下により、けがの原因になります。

⚠ 注意

指示を守る

● **本装置の使用できる機器の消費電力は合計８００W以下です。
消費電力合計８００W以下で使用してください。**

合計８００Wの場合でも、突発的に８００Wを超える電力消費のある家電製品は使用できないことがあります。特に、プラズマテレビ、大型の液晶テレビ、デスクトップ PC、インバータ方式ではない冷蔵庫、など起動時に大きな電力を消費する機器や、負荷変動の大きい機器などの場合、消費電力が 800W 以下であっても使用できない場合があります。（接続する機器に関するご注意を参照してください。）➔P.12

指示を守る

● **本装置を長期間使用しない場合６ヶ月に一度は通電して充電してください。**

充電せずに長期間放置されると内部のリチウムイオン電池が過度に放電し、電池内部の異常な化学反応によって、漏液、発熱などの原因になります。

禁止

● **本装置に貼り付けてあるラベルを汚したり、剥がさないでください。**

ラベルには安全上のご注意、仕様、連絡先などの重要事項が印刷されています。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

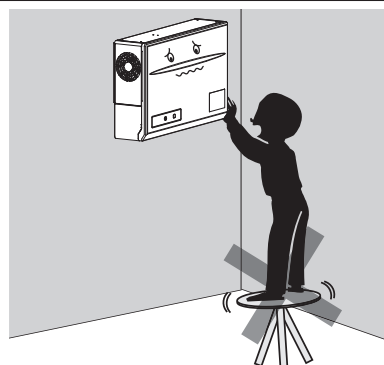
指示を守る

● **本装置の出力先コンセントに接続する電気機器の取扱説明書をよくお読みください。**
電気機器の思わぬ作動により、事故やけがの原因になります。

指示を守る

● **電気機器を接続する前に、電気機器が停止（電源オフなど）状態にあることを確認してください。**
電気機器の不意の始動により、事故やけがの原因になります。

禁止

● **本装置を操作する時およびフィルタを交換する時は、不安定な台に乗らないでください。**
安定した台を使用してください。転倒などけがの原因になります。

水ぬれ禁止

● **本装置の汚れをふき取る場合は、濡れぞうきんを使用しないでください。**
濡れた布でふき取ると水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

水ぬれ禁止

● **本装置の汚れをふき取る場合は、湿式ウエットティッシュなどは使用しないでください。**
アルコール系溶剤や水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

水ぬれ禁止

● **本装置の汚れを落とすために、スチーム洗浄器を使用しないでください。**
水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

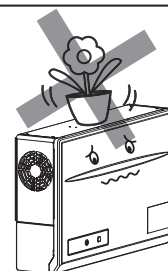
水ぬれ禁止

● **本装置に水を掛けないでださい。**
内部に水が浸入し基板の回路が短絡し、感電・発火の原因になります。

水ぬれ禁止

● **本装置を水洗いしたりコップや花瓶など水の入った容器を載せたりしないでください。**
水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

禁止

● **本装置の上に物を載せないでください。**
本装置が落下し、けがの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

禁止

● **本装置にはぶら下がらないでください。**
本装置が落下し、けがの原因になります。

禁止

● **本装置につながったコンセントに破損した家電機器や延長ケーブル等を接続しないでください。**
故障や発熱、発煙、火災などの原因になります。

指示を守る

● **フィルタは定期的（1年に 1 回）に当社指定のフィルタに交換してください。フィルタの使用期間は1年間です。**
フィルタが目詰まりすると内部の温度が上がり、装置が自動的に停止することがあります。

指示を守る

● **フィルタ交換時は、フィルタパネルの角などに十分注意して行ってください。**
フィルタ交換作業は、子供にさせないでください。必ず大人が行ってください。
フィルタパネルの角などでけがをするおそれがあります。

指示を守る

● **フィルタにほこりや糸くずなどが付いていたら、取り除いてください。**
フィルタが目詰まりすると内部の温度が高温になり、装置が自動的に停止することがあります。

水ぬれ禁止

● **汚れたフィルタを水や洗剤で洗わないでください。**
水濡れなどにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。
汚れたフィルタは洗って再利用せず、新しいフィルタへ交換してください。

禁止

● **本装置の近くで殺虫剤・燻煙剤・燻蒸剤を使用しないでください。**
殺虫剤・燻煙剤・勲蒸剤は、故障の原因になります。

禁止

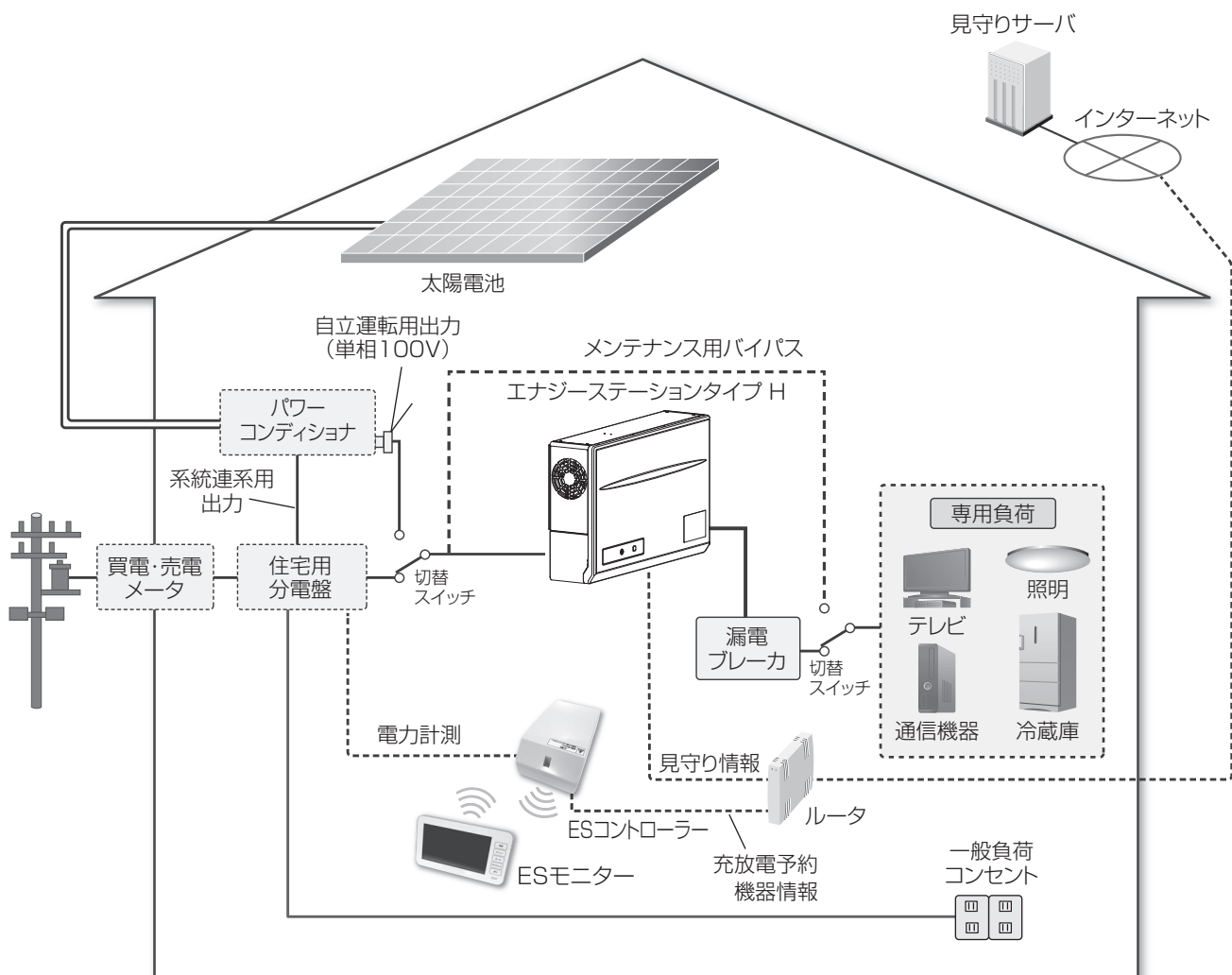
● **本装置の近くでたばこを吸わないでください。**
故障や劣化などの原因になります。

特徴と使いかた

特徴

- 小型軽量　：省スペース型インバータ、高エネルギ密度リチウムイオン電池（325Wh/l）を採用※1
- 期待寿命　：4,000 回以上の充放電が可能※2 です。
- 定格出力　：冷蔵庫、シーリングライト、テレビ等の動作が可能な定格出力 800W※3
- 使用時間　：接続機器の合計が 500W の場合、使用時間の目安は約 2 時間 15 分です。※4
- UPS 機能　：自動的に停電を検知し、瞬間的（10ms 以下）に電池からの出力に切り替えます。
- 通信機能　：HEMS の標準通信規格である ECHONET Lite 通信機能を搭載しており、ES コントローラーを接続すると、充電・放電する時間を制御できます。
- 低騒音設計　：本装置からの騒音を約 37dB※5 以下に低減しました。
- 見守りサービス　：インターネットに接続し別途契約することで、本装置の稼働状況や故障検知などの情報を通知します。
- オプション品　：ES コントローラー・ES モニターセット

※1：当社標準条件による
※2：当社測定値（保証値ではありません）
※3：接続機器消費電力合計が定格出力以下でも、接続する機器によっては動作しない場合があります。
※4：内蔵のリチウムイオン電池は使用条件や使用環境および時間経過等により電池容量が少しずつ低下します。
※5：反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に取り付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け、表示の数値より大きくなることがあります。

システム構成例

重要なお知らせ

リチウムイオン電池には寿命があります

- リチウムイオン電池は経年により容量が減少します。容量が減少したリチウムイオン電池は規定の性能を満たすことができなくなります。
- 寿命がきたリチウムイオン電池は交換が必要です。リチウムイオン電池はリサイクルしますので、日立マクセルサポートセンターまでご連絡ください。➔P.39

寿命停止機能について

本装置は、自動的にリチウムイオン電池の寿命を判断し、強制的に充電・放電の動作を停止する機能を搭載しています。

下記のどちらか一方になった時点で、動作を停止します。

- 本装置の稼働期間が約 10 年を経過した場合
- リチウムイオン電池の容量が定格容量に対して 50%未満に減少した場合
  （周囲温度や使いかたにより、容量が減少する時間は異なります。）

点検機能について

本装置は、リチウムイオン電池保護のために自動的に点検を行う機能を搭載しています。

下記のどちらか一方になった時点で、自動的に点検を行います。

- リチウムイオン電池の稼働期間が約 6 ヶ月を経過した場合
  （内部カレンダから年に 2 回自動的に点検を実施します。点検は、4 月 1 日、10 月 1 日に行われます。）
- リチウムイオン電池の容量が定格容量に対して 60% 程度に減少した場合

接続機器消費電力合計	点検時間の目安
50W	26 時間 40 分
100W	19 時間
200W	13 時間 40 分
500W	9 時間 50 分
800W	8 時間 50 分

※表記の値は、製品出荷時、周囲温度 25℃における点検時間の目安です。

点検はリチウムイオン電池を完全放電し、約 1 時間充放電を休止後に満充電まで充電を行います。そのため接続機器の消費電力が少ないと時間がかかります。点検時間の目安は上記の表を参照してください。

⚠ 注意

- 点検中は、出力スイッチ（Power）をオフにしたり本装置用分岐ブレーカをオフにしないでください。出力スイッチ（Power）をオフにしたり本装置用分岐ブレーカをオフにした場合、点検機能が中断し終了します。

使用上のお願い

- 旅行などで長期不在にする場合は、充電した後にシャットダウンをしてから本装置用分岐ブレーカをオフにしてください。➔P.23
  リチウムイオン電池は長期間放置して完全に放電してしまうと本装置が起動できなくなるおそれがあります。
- 長期不在にする場合 6 ヶ月に一度は通電して充電してください。
- シャットダウン操作をすると、見守りサービスはご利用できなくなりますのでご注意ください。

消費電力別の使用時間の目安

表記の値は、製品出荷時（周囲温度 25℃）における満充電からの使用時間の目安です。
（当社で測定した参考値です。）
ご使用になる家電機器のメーカや機種によっても異なる場合があります。

接続機器消費電力合計	使用時間の目安
50W	17 時間
100W	9 時間 40 分
200W	5 時間 15 分
500W	2 時間 15 分
800W	1 時間 20 分

接続する機器の消費電力合計は、800W 以下にしてください。定格以上の電力が消費された場合、リチウムイオン電池からの出力を停止することがあります。

接続する機器に関するご注意

使用できる家電製品とできない家電製品

本装置の出力先コンセント等に接続して、使用できない家電製品があります。
下記の表から使用できない家電製品は接続しないようにしてください。

使用できる家電製品例※1※2

- インバータ方式冷蔵庫 ● インバータ方式蛍光灯
- LED シーリングライト
- 携帯電話充電器
- ノート PC
- デスクトップ PC
- AV 機器（DVD レコーダ・DVD プレーヤ・BD プレーヤ・HDD レコーダ）
- 空気清浄機 ● ゲーム機器
- 液晶テレビ ● 光電話
- イーサネット用 ONU
- ＨＥＭＳ用 HUB
- HEMS コントローラなど

合計：800W 以下 ※3

使用できない家電製品例

- インバータ方式ではない冷蔵庫※4
- 医療機器 ● 防犯機器 ● 洗濯機 ● 掃除機
- 加湿器 ● ヘアードライヤ ● 電子レンジ
- トースタ ● オーブンレンジ
- ホットプレート ● ＩＨ調理器・電磁調理器
- 自動食器洗器 ● 炊飯器 ● 扇風機
- 電気ポット ● 電気ケトル ● ホットプレート
- アイロン ● コタツ ● 電気カーペット
- 観賞魚等の水槽用エアーポンプ
- 自動給餌機 ● ワインセラー ● エアコン
- ヒータ ● 生ゴミ処理機 ● 餅つき機
- ミキサ ● 布団乾燥機 ● 衣類乾燥機など

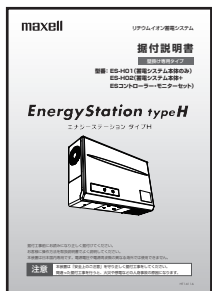
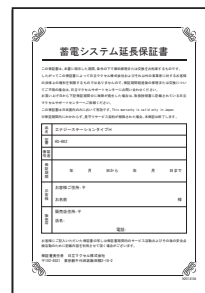
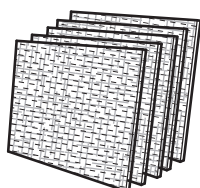
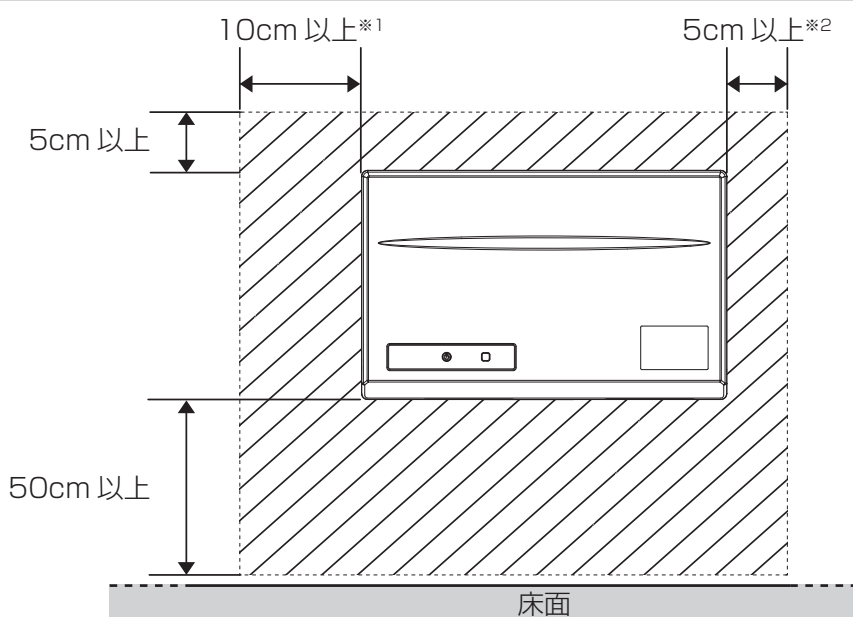
※１：すべての家電製品の動作を保証するものではありません。
※２：パソコン・AV 機器・ゲーム機などの、データ保存・バックアップ作業はお客様自身で責任を持って行ってください。
※３：接続される機器の消費電力合計が 800W 以下であってもプラズマテレビ、大型の液晶テレビ、デスクトップ PC、インバータ方式ではない冷蔵庫など起動時に大きな電力を消費する機器や、負荷変動の大きい機器などの場合、消費電力が 800W 以下であっても使用できない場合があります。
※４：インバータ方式ではない冷蔵庫の確認方法は、P.36 を参照ください。

接続する機器に関するご注意（つづき）

その他ご注意事項

- 接続する機器が正常に動作することをあらかじめご確認いただいてから、接続してください。
- 使用できる機器の消費電力は合計 800W 以下ですが、機器によっては消費電力が 800W以下であっても、使用できない場合があります。
- インバータ方式ではない冷蔵庫は、電動機定格消費電力が（例）90W でも電動機の起動時は約 10 倍（900W）相当の電力が流れます。定格ラベルに記載の 90 ／ 100W とは電動機の消費電力が安定期の電動機消費電力です。➔P.36
- インバータ方式ではない冷蔵庫を使用された場合、定格消費電力の合計が 800W 超えることで本装置および接続される機器の動作に、一時停止などの障害を起こす場合があります。
- 家庭用交流電源（AC100V）に比べて、家電機器の能力が低下する場合があります。
- 本装置に接続したラジオやオーディオプレーヤ、テレビ画面などにノイズが出る場合があります。
- 繰り返し本装置からの出力が停止するような場合は直ちに使用を中止し、日立マクセルサポートセンターにご相談ください。➔P.39
- 停電時に自動的にリチウムイオン電池からの出力に切り換わりますが、その際、短時間（0.01 秒）電力が低下するため、テレビ画面の一時的な乱れやラジオ等にノイズが出る場合があります。
- 電力供給時間は、電池残量・本装置の保存状態およびお使いの電化製品により異なります。
- リチウムイオン電池には寿命があり、充放電回数を重ねたり、時間が経過するにつれてリチウムイオン電池容量は徐々に低下するため、使用できる時間が短くなります。
- 人命に直接かかわる医療機器、システム、人身の損傷に至る可能性のあるシステム、社会的・公共的に重要なシステム、またはこれに準ずる装置・システムにはご使用できません。

付属品の確認

取扱説明書（本書）･･･1 部
（補足資料が付属する場合があります）

保証書･･･1 部

交換用フィルタ（5 枚入り）･･･1 個

設置スペースについて

⚠ 注意

● メンテナンスのため、以下空間を確保ください。

左（排気口）側：10cm 以上※1
上側　　　　　：5cm 以上
右側　　　　　：5cm 以上※2
下側　　　　　：50cm 以上

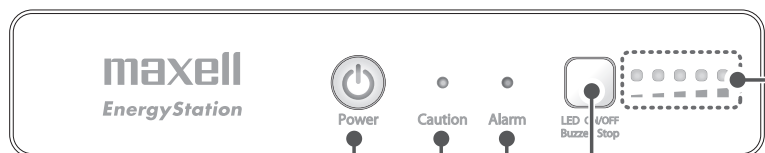
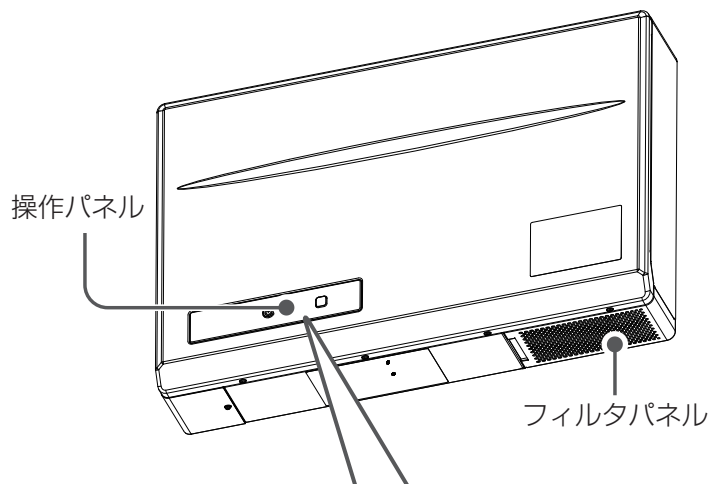
※1：作業時 40cm 以上確保できるようにしてください。
※2：作業時 35cm 以上確保できるようにしてください。

● ファン排気で壁が汚れたり結露することがあります。壁面側にアルミホイルを貼ると汚れを軽減できます。

各部のなまえと操作パネル

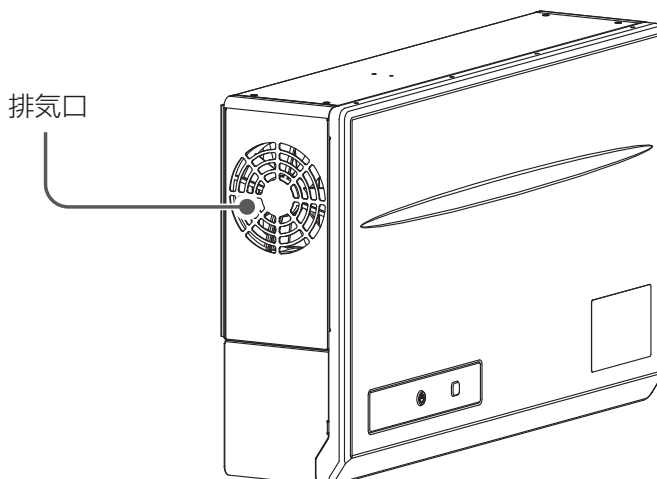
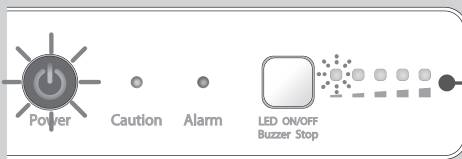
装置前面

電池残量インジケータ
電池残量と動作状態を表示します。
・出力中：6 段階で残量を表示します。
・充電中：スイープ表示します。

ブザー停止・残量表示スイッチ
（LED ON/OFF Buzzer Stop）
ブザー鳴動時にブザーを停止させます。
・通常時にスイッチを長押し（約 5 秒間）：
残量表示のオン / オフを切り替えます。
・残量表示オフ時にスイッチを押す：残量を表示します。

出力スイッチ（Power）緑色 LED
本装置からの電力出力をオンまたはオフします。
・緑点灯：電力出力オン状態
・緑消灯：電力出力オフ状態

アラーム（Alarm）赤色 LED
故障が発生した場合に点灯します。

コーション（Caution）橙色 LED
一時的に正常動作できない場合に点灯します。故障ではありません。

装置側面

操作パネルランプ表示の見かた

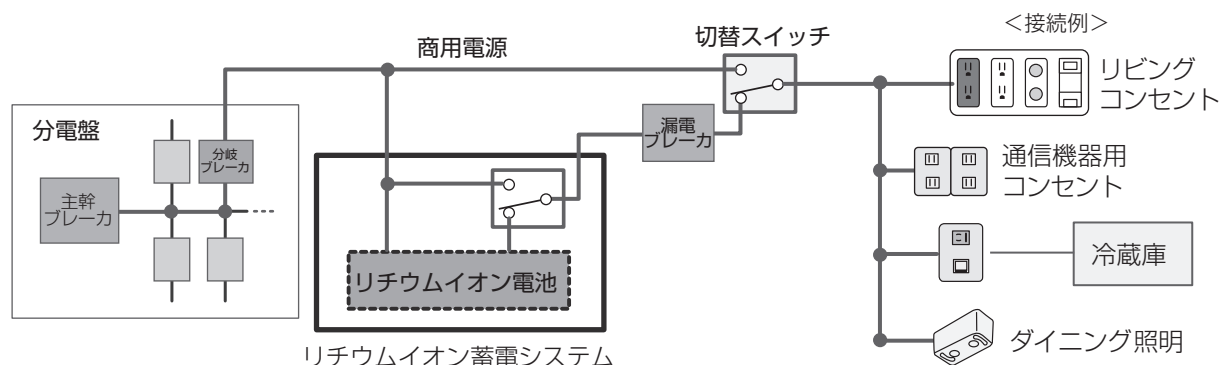
：点灯を示します

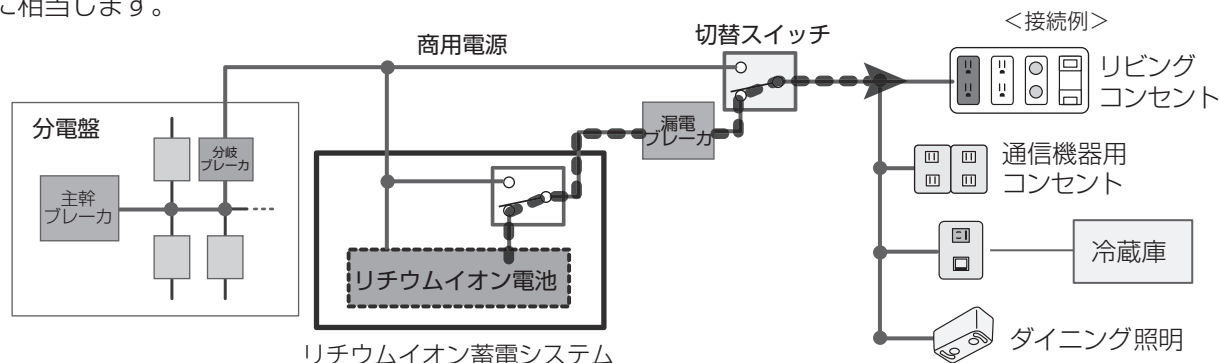
操作を行う前の準備

操作パネルランプ表示	装置の状態	動作状況
ランプの点灯：全消灯	停止中	● 出力スイッチ（Power）：オフ ● 出力供給：停止
ランプの点灯：消灯	待機中	● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ※1 ：消灯 ● 出力供給：商用電源から出力 ※1：電池残量表示を点灯させる場合は、ブザー停止･残量表示スイッチを長押し（約5 秒）してください。
ランプの点灯：点灯 スイープ表示	充電中	● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ ：スイープ表示 ● 出力供給：商用電源から出力
ランプの点灯：点滅（Caution）、点滅（電池残量インジケータ） 電池残量 10%以下 / 11～20% / 21～40% / 41～60% / 61～80% / 81%以上	バックアップ運転中（放電中）	● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ※2 ：点滅または消灯 （電池残量を表示） ● 出力供給：リチウムイオン電池から出力 ※2：電池残量インジケータは、使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。 ※3：ピークシフト運転は、ESコントローラーによる制御が必要です。
ランプの点灯：点滅	ピークシフト※3運転中（放電中）	● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ※2 ：点滅または消灯 （電池残量を表示） ● 出力供給：リチウムイオン電池から出力

当社 ES モニターなどの HEMS 制御機器（あるいは HEMS コントローラ）に表示される「運転モード」および「接続機器情報」は、装置の出力スイッチ（Power）がオフの場合は実際の運転状態と異なる場合があります。

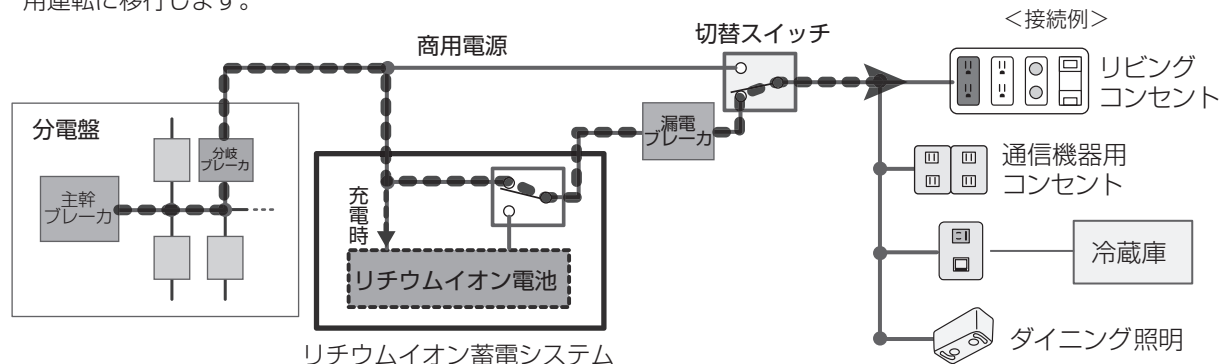
装置の動作概略図

全体配線概略図

バックアップ運転およびピークシフト運転時

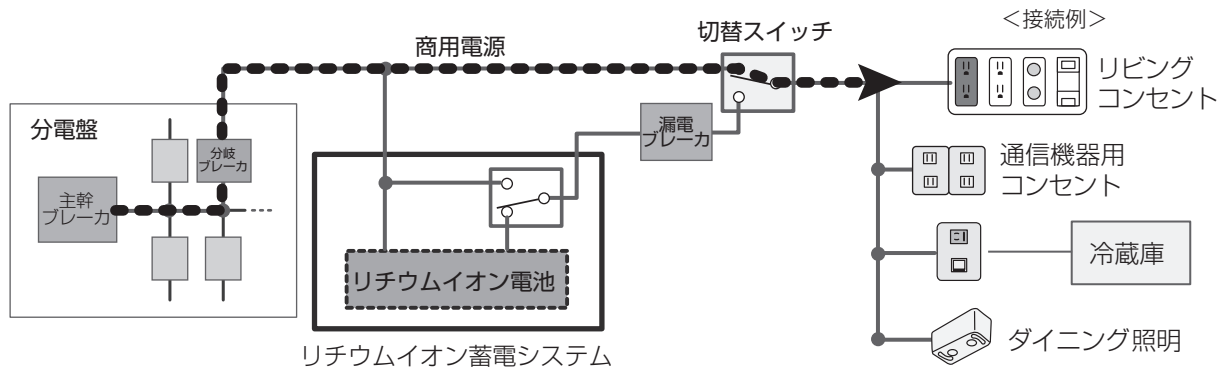
- バックアップ運転は停電時に自動的に行います。※1
- ピークシフト運転は HEMS からの制御によって行います。
  HEMS により充電予約時間、放電予約時間の設定ができます。
- 当社 ES モニターなどの HEMS 制御機器（あるいは HEMS コントローラ）の場合、運転モードは「放電」に相当します。

※1：本装置に異常がある場合は、停電が発生してもバックアップ運転に切り替わりません。詳細は、「装置の動作状態」 ➔P.27 を参照してください。

商用運転時および臨時商用運転※2

- 商用電源を出力します。
  リチウムイオン電池が満充電でない場合は充電も行います。
- 当社 ES モニターなどの HEMS 制御機器（あるいは HEMS コントローラ）の場合、運転モードは「充電」あるいは「待機」に相当します。

※2：本装置の保護機能により、リチウムイオン電池への充電やリチウムイオン電池からの放電ができない場合は、臨時商用運転に移行します。

装置の動作概略図（つづき）

切替スイッチを商用側へ切替時

本装置を通さずに、商用電源を直接通電します。本装置が故障した場合などに切替スイッチ操作を行います。

お知らせ

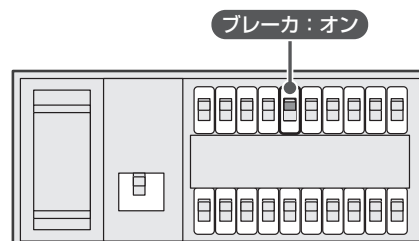
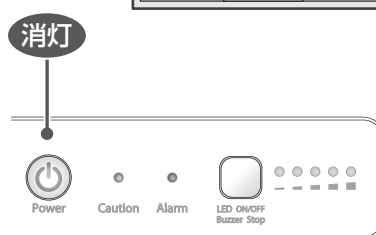
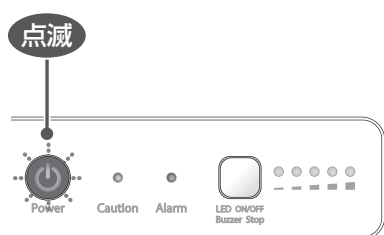
- ：電力の流れを表します。
- 切替スイッチを商用側へ切り替える手順は、「切替スイッチ操作方法」（➔P.31）を参照してください。

設置後に初めてご使用になる場合

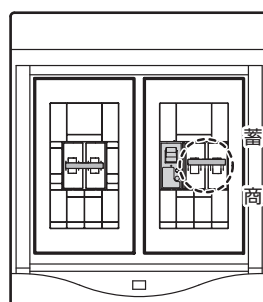
本装置は、安全のために出荷時は満充電ではありません。設置後初めて使用する際、満充電まで自動的に充電が行われます。（6時間程度）

運転する

1 **分電盤の本装置用分岐ブレーカをオンにすると、出力スイッチ（Power）が点滅します。**

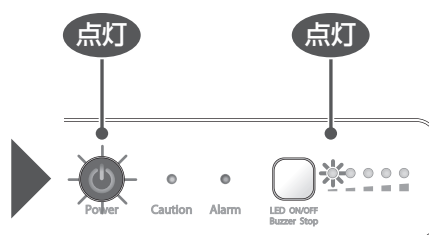
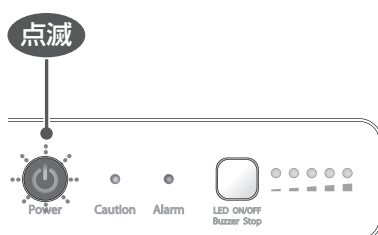
出力スイッチ（Power）が点滅から消灯に変わります。

2 **約 15 秒待ちます。**

3 **切替盤の切替スイッチを操作し、ハンドル位置を蓄電システム側にします。**

蓄電出力切替スイッチ<参考例>

4 **装置の出力スイッチ（Power）をオンにします。**

出力スイッチ(Power)が点滅し、ブザーが鳴ります。しばらくすると、出力スイッチ（Power）が点滅から点灯に変わり、商用運転し充電が開始されます。

※ ブザー停止・残量表示スイッチを押してもブザーは停止しません。

運転のしかた

設置後に初めてご使用になる場合（つづき）

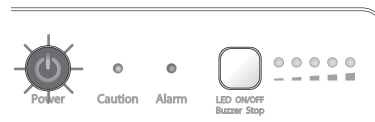
接続機器の消費電力が許容範囲内か確認する

消費電力が許容範囲内か確認を行います。（推奨手順）

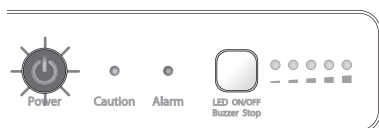
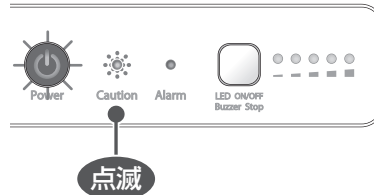
1 **商用運転中に本装置の出力先コンセントに、使用したい家電製品を接続します。**

接続した家電製品の電源の取り扱いは、家電製品の取扱説明書をご覧ください。

2 **本装置を起動させて、5 ～ 10 分待ちます。**

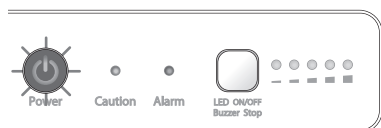
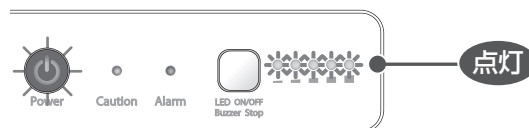
冷蔵庫などの家電機器はコンセントに接続してから 5 ～ 10 分ほど経たないと電動機保護のため、定格消費電力になりません。

3 **コーション LED が点滅しないか確認します。**

消費電力の合計が 800W を超えている場合は、コーション LED が点滅します。

消費電力が 800W を超えていない場合

消費電力が 800W を超えている場合

4 **使用優先順位の低い機器を本装置の出力先コンセントから外します。**

コーション LED が点滅した場合は、消費電力の合計が 800W を超えています。消費電力の合計が 800W を超えないようにご使用ください。

充電が完了した場合

本装置の充電が完了すると次のような表示になります。

待機中（動作正常）
充電完了直後は待機中になり、電池残量インジケータは「消灯」します。

電池残量を確認する場合は、ブザー停止・残量表示スイッチを長押し（約 5 秒）してください。
電池残量インジケータが点灯し残量を表示します。

当社 ES モニターなどの HEMS 制御機器（あるいは HEMS コントローラ）をご使用にならない場合、定期的（月 1 回程度）に残量を確認してください。電池残量が減っていた場合、出力スイッチ（Power) を一旦オフにした後、オンにしてください。充電が開始されます。

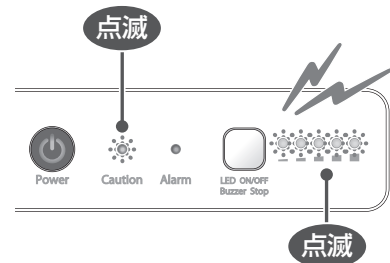
停電時の操作

停電が発生した場合

1 **操作パネルのコーション LED 点滅しブザーが 30 秒間鳴ります。**

電池残量が一定以上ある時は、自動的にリチウムイオン電池からの出力に切り換わります（バックアップ運転）。

商用電力が回復すると･･･

自動的に商用運転（充電状態）に切り替わります。

停電時の出力停止操作

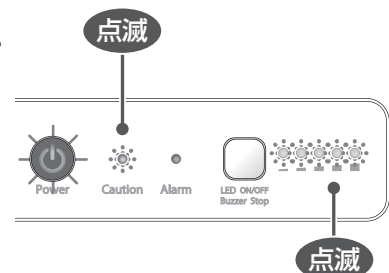
停電時には、自動的にリチウムイオン電池からの出力に切り替わり、本装置の出力先コンセント等への給電を継続します。この状態で電池残量の消費を節約するために、出力を停止することができます。

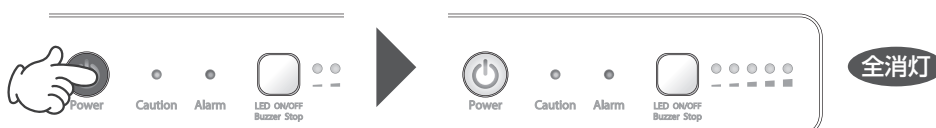
⚠ 注意

- 停電時に出力停止操作を行った場合、停止操作から 3 時間経過すると出力させることができなくなりますのでご注意ください。停電回復後は、出力スイッチ（Power) を押して出力させることができます。
- 出力が停止することでコンセントに接続されている機器以外にも本装置に接続されている機器すべてが停止します。

例：冷蔵庫、通信機器（ES コントローラー、インターネット機器、テレビ信号等)、シーリングライト等

1 **停電時のパネル表示は以下のようになります。**

コーション LED と電池残量インジケータが点滅表示します。

2 **出力スイッチ（Power) をオフにします。**

LED が消灯し、出力を停止します。

停電時の操作（つづき）

停電時の出力操作（コールドスタート）

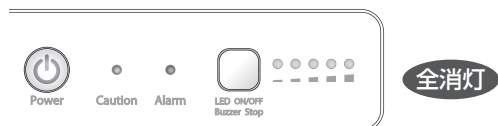
停電時に本装置を停止させていた場合、リチウムイオン電池の電力により本装置を起動し、本装置の出力先コンセント等への給電を行うことができます。

注意

- 停電時、出力スイッチ (Power) をオンにしても、コールドスタートしません。下記の手順に従って操作してください。
- 停電時に本装置が 3 時間以上停止状態が経過すると、保護のため自動的にリチウムイオン電池がシャットダウンし、コールドスタートができなくなりますのでご注意ください。ただし、電力が復帰すれば運転させることができます。
- 本装置を 1 度停止させてしまうと、冷蔵庫は再起動出来ないことがあります。停止後、15 分間※1 待機してから本装置を起動してください。

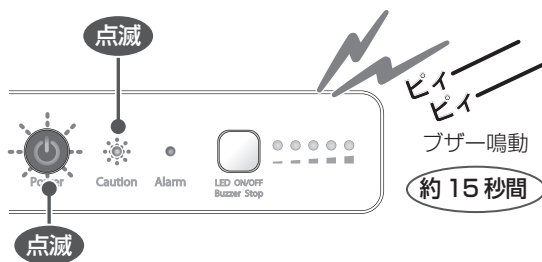
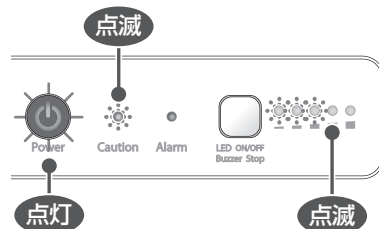
※1：冷蔵庫機種により時間が異なります。詳しくは、冷蔵庫取扱説明書を確認ください。

1 停電発生時（出力停止状態）

LED が全消灯しています。

2 ブザー停止・残量表示スイッチ（LED ON/OFF Buzzer Stop）を押したまま、出力スイッチ（Power）をオンにします。

ブザーが鳴ってから❶を離します。

3 約 15 秒間、出力スイッチ (Power)LED とコーションＬＥＤが点滅します。

※ ブザー停止・残量表示スイッチを押してもブザーは停止しません。

4 出力スイッチ（Power）ＬＥＤが点灯し、コーション LED と電池残量インジケータが点滅し、AC100V が出力されます。

停電が復帰した時

装置が停止していない場合（バックアップ運転中・コールドスタート中）

自動的に商用電源を出力し、充電します。

装置が停止している場合

出力スイッチ（Power）をオンにすると運転を開始します。

シャットダウン操作

本装置をシャットダウンする

● シャットダウン操作を行う前に、電池残量インジケータが 3 つ以上点灯するまで充電してください。

1 **商用電源が通電中に、ブザー停止・残量表示スイッチ（LED ON/OFF Buzzer Stop）を 10 秒間押します。**

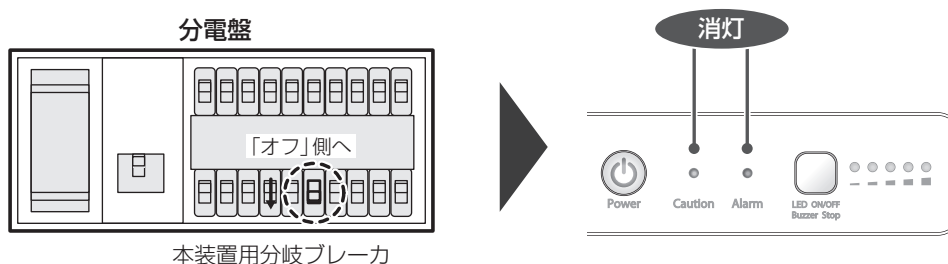
ブザーがピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピーーと鳴ってから、指を離します。

2 **出力スイッチ（Power）を押し、オフします。**

ブザーが 3 回（ピ・ピ・ピ）と鳴りコーション LED とアラーム LED が同時に点灯します。
（本装置用分岐ブレーカをオフにするまで点灯を保持します。）

ブザーが 3 回（ピ・ピ・ピ）と鳴らず、コーション LED とアラーム LED が同時に点灯しない場合は、出力スイッチ（Power）がオフになっていることを確認する。出力スイッチ（Power）がオフになっていない場合はオフにしてから、分電盤の本装置用分岐ブレーカを一旦オフにし、約 20 秒待ってからオンにして、再度「シャットダウン操作」1 項から行ってください。

3 **分電盤の本装置用分岐ブレーカをオフします。**

20 秒以上経過後に、コーション LED とアラーム LED が消灯したことを確認してください。

4 **シャットダウンを確認します。**

出力スイッチ（Power）を 1 回押します（オンの状態）。
出力スイッチ（Power）の LED が点滅しない場合は、シャットダウン状態です。
最後にもう 1 度、出力スイッチ（Power）を押し、出力スイッチ（Power）をオフの状態にしてください。

出力スイッチ（Power）の緑色 LED が点滅した場合は、出力スイッチ（Power）をオフにしてから分電盤の本装置用分岐ブレーカをオンにして、再度「シャットダウン操作」1 項から行ってください。

ブザー停止

ブザーを停止させる

停電時や異常時にブザー音が鳴った場合は、ブザー停止・残量表示スイッチ（LED ON/OFF Buzzer Stop）を押してブザーを停止させることができます。

ブザー停止・残量表示スイッチの使いかた

ブザー停止・残量表示スイッチ（LED ON/OFF Buzzer Stop）を１秒以上押した時に動作します。

① **ブザーを停止する**

ただし、次の場合はブザーを停止できません。

- 運転開始時のブザー音 ➔P.19
- コールドスタート運転開始時のブザー音 ➔P.22

② **コールドスタートを起動する**

「停電時の出力操作（コールドスタート）」参照 ➔P.22

③ **シャットダウンする**

「シャットダウン操作」参照 ➔P.23

電池残量表示を確認する

① **待機中に電池残量表示が表示されていない場合は、ブザー停止・残量表示スイッチを長押し（約５秒）します。** ➔P.16

② **バックアップ運転中、またはピークシフト運転中には、電池残量表示が常時表示されます。**

充電中は、電池残量表示は表示できません。（充電状態を示すスイープ表示のみ表示します。➔P.16）

お手入れの方法

フィルタの清掃と交換

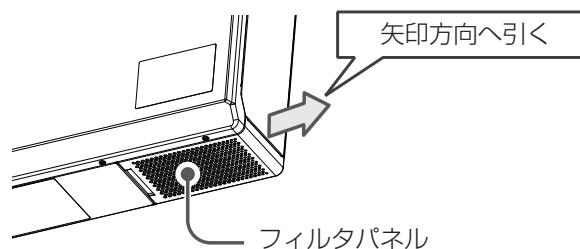
本装置前面のフィルタは内部を冷却するための空気を取り入れているため、ほこりや油汚れをよく捕集します。ご使用状況によりますが、フィルタは定期的な清掃と交換が必要です。

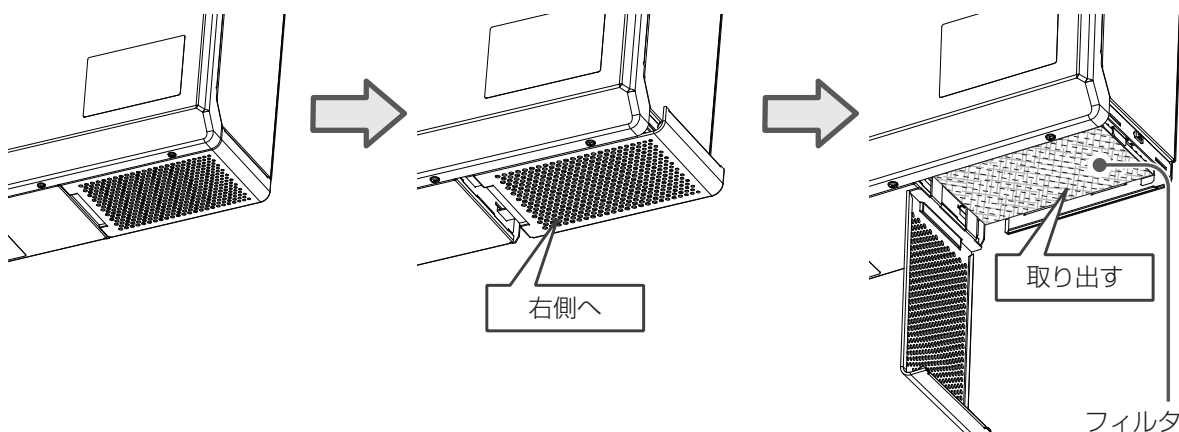
■ フィルタ清掃の目安：6ヶ月に一度程度
■ フィルタ交換の目安：1年に1回（当社指定のフィルタに交換）

⚠ 注意事項

- フィルタを取り外す時は、フィルタパネルの落下に十分注意してください。
  誤って落下させ、けがや床を傷つけるおそれがあります。
- フィルタが目詰まりすると内部の温度が上がり、装置が自動的に停止することがあります。
- フィルタ交換の際に誤って出力スイッチ（Power) を押すと、接続されている機器への電力供給が停止しますのでご注意ください。誤って出力スイッチ（Power) をオフにしてしまった場合は、すぐに出力スイッチ（Power）を押さずに7分以上待ってから出力スイッチ（Power) をオンにしてください。

1 フィルタパネル左側を手前に引きます。

フィルタパネルが外れます。

2 フィルタパネル内部からフィルタを外します。

フィルタパネルの角などに十分注意して行ってください。

3 フィルタの清掃をします。

手でフィルタに付着したほこりや糸くずを取り除いてください。

フィルタを水や洗剤で洗わないでください。
誤って濡らした場合は、完全に乾かしてから取り付けてください。

お手入れの方法（つづき）

4 **フィルタを交換する場合。**（品名：エアフィルター 型式：AF - 01 5P）

お知らせ

交換用フィルタは日立マクセル株式会社直営オンラインショップ「https://www.maxell-online.com/」で販売しています。
インターネット接続ができない場合は、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

5 **フィルタをフィルタパネルに取り付け、もとの位置に取り付けます。**

6 **本装置の表面が汚れている場合、乾いた布などで清掃します。**

装置の動作状態

本装置のみで使用した時の動作状態を操作パネル部のランプとブザーで表示します。

動作が正常な時

：点灯を示します

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
停止中	全消灯	● 出力スイッチ（Power）：オフ ● 出力供給：停止	特に操作の必要はありません
待機中		● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ：消灯 ● 出力供給：商用電源から出力	特に操作の必要はありません
	点灯	電池残量インジケータが消灯時に、電池残量を表示させる場合は、ブザー停止・残量表示スイッチを長押し（約 5 秒間）すると電池残量インジケータが表示されます。 ● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ：点灯 ● 出力供給：商用電源から出力	特に操作の必要はありません
充電中	点灯	● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ：スイープ表示※1 ● 出力供給：商用電源から出力 ※1:スイープ表示は、➔P.16 を参照ください。	特に操作の必要はありません
バックアップ運転中（停電中）	点滅 ピィ ピィ ブザー鳴動 30 秒間	● 停電になりバックアップ運転に自動的に切り替わりました。※2 ※2:主幹ブレーカ、および本装置用分岐ブレーカが「オフ」になっていないか確認してください。ブレーカが「オン」の場合は、停電している可能性があります。停電していない時に、この状態になる場合は、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39	特に操作の必要はありません
	点滅 点滅	バックアップ運転になり 30 秒間後 ● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ：点滅 ● 出力供給：リチウムイオン電池が放電	特に操作の必要はありません

ご注意 ピークシフト運転時は ➔P.30 をご参照ください。

装置の動作状態（つづき）

保護機能による動作状態

▼：遷移を示します　：点灯を示します

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
電池残量が少ない	点滅　ピィッ！ピィッ！　ブザー鳴動 30秒間 ▼ 点滅　ピィー　ブザー鳴動 7秒間	間もなくリチウムイオン電池残量が無くなります。	ブザーが停止したら装置が停止します。 停電復帰後、自動復帰します。 （操作不要）
点検中	点滅	本装置が点検モードに入りました。	本装置の稼働期間が6ヶ月を経過した場合（本装置の内部カレンダを元に年2回)、もしくはリチウムイオン電池の容量が定格容量に対して60%程度に減少した場合のどちらか一方が発生した時点で、自動的に点検を行います。 **(ES モニターを購入された方）** 点検実施日の 10 日前に ES モニター点検開始についてのポップアップが表示されます。「すぐに点検を実施する」あるいは「後で点検を実施する」のどちらかを選択してください。(操作は「ES モニター取扱説明書」をご参照ください。) **ご注意** ＥＳモニターに「点検中」が表示されてから点検が終了するまでの間、本装置の出力スイッチ（Power）をオフにしたり本装置用分岐ブレーカをオフにしないでください。出力スイッチ（Power）をオフにしたり本装置用分岐ブレーカをオフにした場合、点検が中断し終了します。
過負荷	点滅　ピッ！ピッ！　ブザー鳴動 10秒	消費電力が定格電力（800W）を超えているためバックアップ運転を継続できません。	消費電力を減らしてください。 ブザーが鳴動してから６０秒以内に消費電力を減らせば、ブザーが停止しバックアップ運転に自動復帰します。
	▼ 	●バックアップ運転中に消費電力が定格電力（800W）を超えたため、出力を停止しました。 ●出力が停止したことをお知らせするため10分間ブザーが鳴動します。	消費電力を減らし、停電復帰後に、出力スイッチ（Power）を一旦オフにした後、オンにしてください。 運転できない場合は、切替スイッチを商用側に操作してから日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

ご注意　ピークシフト運転時は ➔P.30 をご参照ください。

装置の動作状態（つづき）

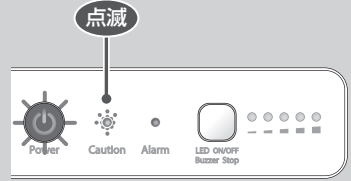
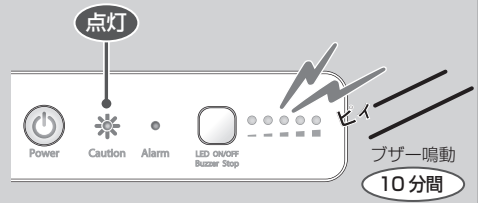
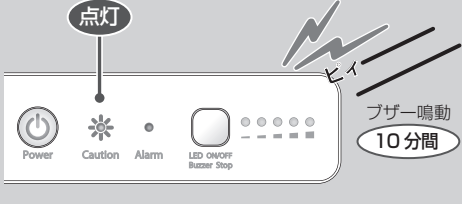
分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
フィルタ目詰まり・過充電	点滅 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop	●フィルタが目詰まりしました。 ●過充電になり、充電を停止しました。	フィルタを交換してください。 または接続装置を減らしてください。 エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。 ➔P.39
使用温度範囲外	点滅 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop ピィ ピィ ブザー鳴動 30 秒間	装置の温度が使用温度範囲外になりました。	温度が使用温度範囲内になれば正常に戻ります。 （特に操作の必要はありません） エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。 ➔P.39
電池寿命	点灯 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop	リチウムイオン電池の交換時期が近づいています。	特に操作の必要はありません エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。 ➔P.39

修理が必要な故障

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
修理が必要な故障	点灯 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop ピィ ピィ ブザー鳴動 30 秒間	装置が故障し臨時商用運転しています。	日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39
	点灯 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop ピィ ブザー鳴動 10 分間	装置が故障し出力を停止しました。	直ちに切替スイッチを「商用側」に操作 ➔P.31 してから、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39
	全消灯 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop 出力スイッチ（Power）がオン（押された状態）の時	装置が故障し出力を停止しました。	直ちに切替スイッチを「商用側」に操作 ➔P.31 してから、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

ピークシフト運転時の動作状態

本装置に ES コントローラー・ES モニターセットを接続して使用した時の動作状態を操作パネル部のランプとブザーで表示します。

ピークシフト運転を実施するには、オプション品（ES コントローラー・ES モニターセット）が必要です。
ES コントローラー・ES モニターセットを接続すると、充電・放電する時間を制御できます。
詳細は「ES コントローラー取扱説明書」「ES モニター取扱説明書」をご参照ください。

動作が正常な時

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
ピークシフト運転中	点滅	ピークシフト運転中 ● 出力スイッチ（Power）：オン ● 電池残量インジケータ：点滅（残量表示） ● 出力供給：リチウムイオン電池から出力	特に操作の必要はありません

保護機能による動作状態

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
電池残量が少ない	点滅	リチウムイオン電池残量が低下したため、臨時商用運転※1 に切り替わりました。（ピークシフト運転を設定している場合、設定された充電時間に充電が行われることで、コーションランプが消灯します。）	特に操作の必要はありません。 リチウムイオン電池残量が低下したためピークシフト運転を継続できません。 臨時商用運転 ※1 に切り替わります。 エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39
フィルタ目詰まり・過負荷	点滅	●フィルタが目詰まりしました。 ●消費電力が定格電力（800W）を超えたため、臨時商用運転※1 に切り換わりました。	フィルタを交換してください。 または接続装置を減らしてください。 消費電力を 800W 以下にすればピークシフト運転に戻ります。 エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39
フィルタ目詰まり・過負荷	点灯 ピィ ブザー鳴動 10 分間	●ピークシフト運転中に消費電力が定格電力（800W）を超えたため、出力を停止しました。 ●出力が停止したことをお知らせするため 10 分間ブザーが鳴動します。	接続装置を減らしてから出力スイッチ（Power）を一旦オフにした後、オンにしてください。 運転できない場合は、切替スイッチを商用側に操作 ➔P.31 してから日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

ピークシフト運転時の動作状態（つづき）

分類	操作パネルランプ表示・ブザー鳴動	装置の状態	対処方法
使用温度範囲外	点滅 ピィ ピィ ブザー鳴動 30 秒間 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop	装置の温度が使用温度範囲外になり、臨時商用運転※1 に切り替わりました。	温度が使用温度範囲内になればピークシフト運転に自動的に戻ります。 （特に操作の必要はありません） エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39
	点灯 ピィ ブザー鳴動 10 分間 Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop	装置の温度が使用温度範囲外になり、停止しました。	温度が使用温度範囲内になった後に、出力スイッチ（Power）を一旦オフにしてから再びオンにすれば運転できます。 この場合はピークシフト運転に戻れません。 エラーが続くようであれば、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

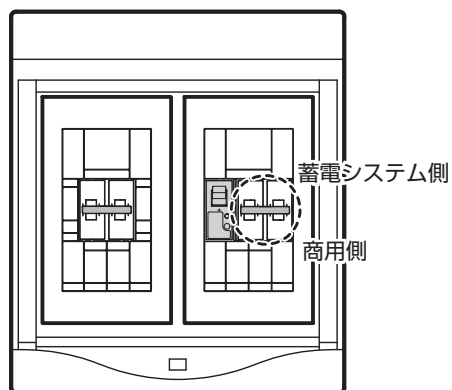
※1：一時的に臨時商用運転に切り替えます。
ただし、停電が発生してもバックアップ運転ができないため、保守技術者による対処が必要となります。
詳細は、「保障とアフターサービス」を参照の上、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。
➔P.39

電池残量が少なくなりすぎると、設定に関わらず一時的に充電動作になる場合があります。

切替スイッチ操作方法

切替盤（型番：B1X12）を使用する場合

本装置が異常で停止した場合、切替盤内の蓄電出力切替スイッチを操作し、ハンドル位置を「商用側」にしてください。

蓄電出力切替スイッチ（参考例）

切替スイッチを操作することにより本装置を通さずに直接商用電源を通電することができます。

この切替スイッチは、修理･故障時のみ操作してください。
通常時のハンドル位置は「蓄電システム側」でご使用ください。
異常により本装置が停止し、「商用側」へ切替スイッチ操作を行った場合は、日立マクセルサポートセンターまでご連絡ください。➔P.39

故障かなと思ったら

下記の「対処」を行っても解決しない場合は、直ちにご使用を中止して、お買い上げの販売店または日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

現象	状態	主な原因	対処
残量表示がゼロのまま	充電が開始されない	本装置に商用電源が接続されていない	分電盤の本装置用分岐ブレーカを確認してください。オンになっていない場合はオンにしてください。本装置用分岐ブレーカオンを確認後、出力スイッチ（Power）をオンにしてください。
家電機器が使えない	家電機器を接続したが、動作しない	家電機器に電力が供給されていない	出力スイッチ（Power）がオンになっているか確認してください。家電機器のプラグを本装置の出力先コンセントに確実に差し込んでください。
家電機器は使えているが、電気機器の使用時間が短い	電池残量が早く減る	家電機器の負荷が大きい	接続する家電機器の合計消費電力を下げてください。
		リチウムイオン電池が寿命	コーション LED が点灯している場合は、出力スイッチ（Power）をオフにし、切替スイッチを商用側にした後、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせくださ ➔P.39

非常停止する

本装置から異臭、異音、発熱、発煙が発生した場合は、直ちに出力スイッチ（Power）をオフにして、分電盤の本装置用分岐ブレーカをオフにしてください。
また、日立マクセルサポートセンターへお問い合わせください。➔P.39

お知らせ　分電盤の本装置用分岐ブレーカをオフにした場合、本装置の出力先コンセント等に接続されているすべての家電機器は停電します。
お手数でも本装置の出力先コンセントに接続していた家電機器（冷蔵庫など）は、別のコンセントから延長ケーブルを使って電源を接続してください。

よくあるご質問にお答えします

質問	回答
電池の寿命はどれくらいですか？	使用条件・設置条件（温度）にもよりますが、1 日 1 回の充放電でご使用いただいた場合には、約 10 年が目安となります。
騒音は発生しますか？	機内冷却のためファンが動作しますが、その場合でも約 37dB 以下です。
見守りサービスとは何ですか？	インターネット回線を介して、本装置の稼働状況や故障などを検知し、メールなどでお知らせするサービスです。
停電の場合、何か操作は必要ですか？	自動的に本装置から放電されますので、操作は不要です。
どこに設置できますか？	壁にかけて設置します。設置場所によっては壁の補強工事が必要になります。
製品の安全性について教えてください。	様々な安全性試験をクリアしています。また、第三者機関からの認証を得ています。

仕　様

製品名称			エナジーステーション　タイプ H	
型番			ES-H01	ES-H02※1
品番			SES080H-014E	
本体	入力	定格電圧	AC100V	
		充電時間	約 6 時間(25℃)※3	
		相・線式	単相２線　アース付　中性線有	
		定格周波数	50Hz/60Hz	
		定格電流	定格負荷、満充電時：10A 定格負荷、充電電流最大時：14A	
		回路遮断器	商用電源直送用：20A 充電器・制御用：10A	
	出力	定格電圧	AC100V	
		相・線式	商用電源運転時：単相２線　アース付　中性線有 バッテリ運転時：単相２線　アース付　中性線なし	
		定格周波数	50Hz/60Hz	
		定格電力	皮相電力：1000VA　　有効電力：800W	
		過負荷保護	商用電源運転時：12A	
			バッテリ運転時：定格電力の 110%以下	
	外部通信機能	インターフェース	有線 LAN※4	
		対応プロトコル	ECHONET Lite　Version 1.01　Appendix Release B 対応	
	蓄電池	定格蓄電容量	1.4kWh	
		種類	リチウムイオン電池	
	使用環境	周囲温度	0 ～ 40℃	
		湿度	10 ～ 90% RH（結露なきこと）	
		使用場所	室内(直接日光のあたる場所や湿度の高いところには設置しないこと)	
	その他	騒音	約 37dB 以下※5	
		充放電回数	4,000 回以上※6	
		寸法	幅：605mm　高さ :380mm　奥行き：155mm　（突起部は除く）	
		質量	30kg（取付板含まず）	

仕　様（つづき）

製品名称			エナジーステーション　タイプＨ	
型番			ES-H01	ES-H02 ※1
品番			SES080H-014E	
ES コントローラー（CIK-07 UMM）※2	本体（CIK-07 UMM-A）	入力		単相３線式 100V/200V
		インターフェース		有線 LAN × 1、無線 LAN × 2
		環境条件		温度 0℃～ 40℃、湿度 10% RH ～ 90% RH（結露なきこと）
		寸法		幅：125mm 高さ：220mm 奥行き：79mm
		質量		約 0.6kg
	モニター（CIK-07 UMM-B）	タッチパネル		抵抗膜方式タッチパネル
		画面サイズ		7 型ワイド TFT カラー液晶
		解像度		WVGA
		インターフェース		USB TypeA × 1、有線 LAN × 1、無線 LAN × 1
		設置		卓上、壁掛け設置対応
		電源		AC アダプター
		環境条件		温度 5℃～ 35℃、湿度 20% RH ～ 80% RH（結露なきこと）
		寸法		幅：215mm 高さ:125mm 奥行き：26.4mm
		質量		約１ｋｇ

※１：型番　ES-H02 は、蓄電システム本体と ES コントローラー本体・モニターがセットになります。
※２：ES コントローラー本体･モニターの仕様および操作方法については、ES コントローラー（本体･モニター）の取扱説明書をご参照ください。
※３：温度環境により充電時間が変化します。
※４：365 日ネットワークを介して蓄電システムを見守ります。有線 LAN およびインターネット回線を介した見守りサービス機能があります。
詳細は別途　見守りサービスご契約内容を参照してください。
※５：反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に取り付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け、表示の数値より大きくなることがあります。
※６：当社測定値(保証値ではございません)

充電と放電を同時に行うことはできません。

お困りのときは

ご参考

インバータ方式冷蔵庫とインバータ方式ではない冷蔵庫の見分け方

冷蔵庫の庫内側面または扉の内側に貼られている家庭用品品質表示法による表示ラベルの内容をご確認ください。または冷蔵庫の取扱説明書をご参照ください。

● インバータ方式冷蔵庫の場合 (表示例)
定格電圧：100V、定格周波数：50 ／ 60Hz、電動機定格消費電力：90 ／ 90W
● インバータ方式ではない冷蔵庫の場合 (表示例)
定格電圧：100V、定格周波数：50 ／ 60Hz、電動機定格消費電力：90 ／ 100W

周波数が異なると電動機定格消費電力も異なる場合は、インバータ方式ではない冷蔵庫です。

お知らせ　インバータ方式ではない冷蔵庫の場合、電動機定格消費電力の 10 倍以上の電流が短時間流れる場合があります。

冷蔵庫の表示ラベル位置（例）

インバータ方式冷蔵庫のラベル（例）

インバータ方式ではない冷蔵庫の表示ラベル（例）

お知らせ
● インバータ方式冷蔵庫：
圧縮機やモータの回転数を変化させ効率よく運転する方式です。
● インバータ方式ではない冷蔵庫：
一定の回転数で圧縮機やモータを運転する方式です。

お困りのときは

ご参考（つづき）

取扱説明書で使用している用語・略語

ECHONET Lite 規格	エコーネットコンソーシアムが策定したスマートハウス向けの通信規格。エアコンなどの家電製品、本装置、給湯器などと情報をやり取りする通信方式を規定。
HEMS	Home Energy Management System（家庭内電力制御システム）の略。
LED	Light Emitting Diode（発光ダイオード）の略。
ＯＮＵ	光ネットワークユニット (Optical Network Unit : ONU) の略（回線終端装置）
アラーム LED	故障状態の時に点滅。
コーション LED	警報状態の時に点滅。過剰な負荷など復帰可能な状態。
インバータ方式	圧縮機やモータの回転数を変化させ効率よく運転する方式。
コールドスタート	停電時に本装置を停止させていた場合、リチウムイオン電池により本装置を起動すること。
切替スイッチ	本装置の修理・故障時に、直接商用電源を出力に接続されている機器・コンセントに供給するために切り替えるスイッチ。
残量表示	リチウムイオン電池の満充電に対する割合を表示（絶対量ではありません）。
商用（電源）	電力会社から一般家庭などに供給される電力。
商用運転	商用電源から本装置を経由して直接出力に電力を供給している状態。
臨時商用運転	本装置の保護機能が働いたとき商用運転している状態
バックアップ運転	停電時にリチウムイオン電池からの出力に切り替えて動作している状態。
ピークシフト運転	HEMS 制御により、通電時にリチウムイオン電池からの出力にて動作している状態。

■配線用推奨部品

名称		定格	メーカ、型番など
切替盤	切替スイッチ	AC250V 2P 60A	日東工業（株）DS32 2P 30A
	漏電ブレーカ	AC100V 2P1E 15A	日東工業（株）GX52A2P15AF30
	収納ケース	－	日東工業（株）FPC-1D または FPC-2D
電源ケーブル		VVF2.0-3C または 2C	JIS/PSE 対応品
LAN ケーブル		CAT5	

■ルータ接続確認機器

メーカ	型式	スペック
(株) バッファロー	WHR-300HP2	有線 LAN 100BASE-TX/10BASE-T 無線 LAN IEEE802.11n/g/b

※本装置との接続は、有線 LAN で行う。
　無線 LAN は、ES コントローラー (オプション) との接続に使用する。

ご参考（つづき）

本装置の設計標準使用期間について

本装置は、設計標準使用期間※1 を 10 年、蓄電容量の劣化を定格容量の 50% と定めており、この期間と蓄電容量を超えて使用されますと、経年劣化による発煙、発火等の事故に至るおそれがあります。そのため、使用期間が 10 年を経過した時点、もしくは蓄電容量の劣化が定格容量の 50% 未満に減少した時点で本装置を一旦停止します。

※1：設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の使用条件表を参照）の下で正しくご使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。
無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

項　目	条　件
1. 使用環境（温度／湿度） ・温度／湿度	25℃／ 50%RH
2. 使用条件 ・出力	800W 以下
3. 使用頻度 ・充放電回数	1 回／日

注意事項

本装置の停止後に長期間放置した場合でも、発煙、発火等の事故に至るおそれがあります。本装置の撤去、交換については、日立マクセルサポートセンターまでご連絡ください。➔P.39
リサイクルにご協力お願いします。

設計標準使用期間	10年

本装置の廃棄について

本装置の廃棄に関しては、「保証とアフターサービス」を参照の上、日立マクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P.39

保証とアフターサービス

■ 保証書

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。
また、保証書はよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■ 本装置に関するお問い合わせ先

本装置に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセルサポートセンター

TEL : 0120 - 977 - 282

IP 電話の場合、上記番号がつながらない場合 : TEL : 03-3432-3188

(受付時間)9:00 ～ 21:00(365 日)
(電話番号、受付時間は変更になることがあります。)

弊社ではご相談内容を正しく把握し、正確にご回答するため、および電話対応の品質向上のために通話内容を録音させていただいております。あらかじめご了承ください。

日立マクセル株式会社

〒618-8525 京都府乙訓郡大山崎町小泉 1 番地

●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社もしくは業務委託先に個人情報を提供し対応させていただくことがございます。
●上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ご転居されるとき

ご転居されるときは、必ず上記日立マクセルサポートセンターにご連絡ください。